

2022年10月3日

日立グローバルライフソリューションズ株式会社

**再生可能エネルギー由来の電力を本社に導入し、
カーボンニュートラルに向けた取り組みを加速
10月から本社の全ての電力で導入**



日立 GLS 本社が入るビルの外観

日立グローバルライフソリューションズ株式会社(以下、日立GLS)は、カーボンニュートラルに向けた取り組みとして、10月1日から本社(東京都港区西新橋)において利用している空調や照明などの全ての電力を、再生可能エネルギー由来(以下、再エネ電力)に切り替えました。

これによるCO₂削減量は、年間約660t^{(*)1}を見込んでいます。

今回導入する再エネ電力は、「FIT非化石証書(トラッキング付き)^{(*)2}」および「非FIT非化石証書(電源属性情報有り)」を組み合わせたものであり、事業の使用電力を100%再生エネ電力で賄うことをめざす国際的なイニシアチブである「RE100」に対応しています。

日立グループでは、2030年度までに事業所や生産活動におけるカーボンニュートラル達成に向けて取り組んでいます。日立GLSでも2022年7月から栃木事業所で太陽光発電設備の稼働を開始するなどさまざまな取り組みを行っており、今後も再エネ電力の導入を積極的に進めていきます。

日立GLSは、企業の存在価値を従業員ひとりひとりが認識し、社会やお客さまの課題を自分の業務と関連づけて捉えて、その解決に貢献する取り組みを進めるため、従業員の起案で2021年4月にパーパスを策定しました。今後もこのパーパスを指針に、環境負荷の低減に寄与する製品の提供拡大や生産プロセスにおける省エネルギーの推進、再生可能エネルギーの活用などを進めていきます。

(*)1 2021年の年間電力量より算出。

(*)2 FIT 非化石証書とは、固定価格買取制度(FIT)対象の再生可能エネルギー電源の電気に対する証書のことであり、トラッキング付き非化石証書はさらに環境価値の由来となった再生可能エネルギー電源を追跡・トラッキングしたものです。

■日立グローバルライフソリューションズについて

日立グローバルライフソリューションズは、家電・空調を中心としたプロダクト事業、ソリューション事業に加え、これまで培ってきた事業基盤と日立グループの総合力、またデジタル技術を活用したイノベーションを通じて、「360°ハピネス ひとりひとりに、笑顔のある暮らしを」という想いのもと、「暮らしの充実」「医療の高度化、充実」「循環型社会」そして「低環境負荷」の4分野を中心に生活者のQoL向上に貢献するライフソリューションの創出、さらにグローバルアライアンスの強化による日立ブランド製品の海外販売とライフソリューション事業の海外展開を加速していきます。

以上

このニュースリリース記載の情報(製品価格、製品仕様、サービスの内容、発売日、お問い合わせ先、URL 等)は、発表日現在の情報です。予告なしに変更され、検索日と情報が異なる可能性もありますので、あらかじめご了承ください。
